



THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A. THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

山梨県甲府市中央5丁目4-1 1
山梨YMCA青少年センター
〒400-0032 TEL 055-235-8543
FAX 055-235-8553

国際会長主題：ともに、光の中を歩もう
アジア太平洋地域会長主題：ワイズ運動を尊重しよう
東日本区理事主題：広げよう ワイズの仲間
あずさ部長主題：継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう
甲府21クラブ会長主題：実現可能な目標定め 山梨YMCAを支援しよう

Henry Grindheim (ノルウェー)
Tung Ming Hsiao (台湾)
栗本 次郎 (熱海)
大野 貞次 (東京西)
佐藤 重良

甲府21ワイズメンズクラブ
2018年2月会報
強調月間
TOF

今月の聖句

愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真理を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。愛は決して滅びない。

コリントの信徒への手紙一 13章4節-8節 小澤智之 選

会長挨拶

甲府21ワイズメンズクラブ会長 佐藤重良

1月9日の甲府クラブと甲府21クラブの合同例会は正月らしくお茶の席とお琴の演奏があり、大変良いものでした。ホストクラブの甲府クラブの皆様にご挨拶申し上げます。

さて、2月10日はあずさ評議会が予定されています。我々甲府21クラブがホストクラブを務めます。十分な準備をして有意義な評議会になりますよう、ご協力をお願いいたします。

また、甲府21クラブの今後の課題としましては・・・

1. 甲府21クラブの活動を発信して社会に認識していただく
2. 機運を醸成してIBCの締結にこぎつける
3. 貧困児童の支援

上記の3点があげられます。皆様のご協力をいただき、活動を推進していきましょう。



合同例会で挨拶をする佐藤会長
2018年1月9日＝甲府市・ホテル談露館

2018年2月例会プログラム

日時：2018年2月6日(火) 19:00～

会場：山梨YMCA青少年センター
司会：茅野 崋メン

- | | |
|----------------|-----------------|
| ①開会点鐘 | 佐藤重良会長 |
| ②ワイズソング・ワイズの信条 | |
| ③今月の聖句 | 小澤智之メン |
| ④会員一言 | 小澤智之メン |
| ⑤会長挨拶 | 佐藤重良会長 |
| ⑥ゲスト・ビジター紹介 | 佐藤重良会長 |
| ⑦ハッピーバースデー | |
| ⑧ワイズディナー | |
| ⑨ゲスト卓話 | |
| 「今さら聞けないワインの話」 | |
| | 株式会社サドヤ顧問 萩原健一氏 |
| ⑩諸報告 | |
| ⑪YMCAの歌 | |
| ⑫閉会点鐘 | 佐藤重良会長 |

【卓話者 萩原健一氏 プロフィール】

1947年神奈川県生まれ。東京教育大学(現筑波大)農学部卒。サントリー山梨ワイナリー時代に農業部門初のデミング賞を受賞した。カリフォルニア大学デーヴィス校の留学経験もある。2000年、新潟県の岩の原葡萄園社長に就任、現在は甲府市の株式会社サドヤ顧問。元競泳選手の萩原智子さんは萩原氏の次女。



在籍者数	26名	項目	ニコニコボックス	バザー収益金	クリスマスオークション	BCコンサート募金	街頭募金ファンド	切手
第1例会出席者数	24名	目標値	250,000	50,000	50,000	50,000	50,000	5,000g
第2例会出席者数	13名	1月の計	20,339	—	73,225	—	—	100g
メイキャップ他行事参加	0名	1月末までの合計	171,609	15,050	73,225	—	—	1060g
出席率	92%	達成率	68.60%	30.10%	146.50%	—	—	21.20%

【2月の誕生者】【メン】山梨謙治(2月6日生)【メネット】荻野優子(2月4日生)鎌田千里(2月9日生)饗場雅子(2月10日生)

2018年新年合同例会報告

甲府21ワイズメンズクラブ書記 寺田喜長



琴と尺八の演奏を楽しむ参加者
2018年1月9日=甲府市・ホテル談露館

恒例の新年合同例会は、甲府クラブのホストにてホテル談露館にて開催されました。

第一部の「もてなしの新年茶会」は琴、尺八の優雅な演奏の中、お菓子やお茶が振る舞われ、また茶器やお菓子などの説明があり、正月の雰囲気を楽しみました。

第二部の「新年合同例会」が丹後甲府クラブ会長の点鐘にて開会、両クラブ会長の挨拶がありました。当クラブの会長挨拶には「ワイズメンズクラブは全てに寛容な集まりである」とありましたが、「各自が責任を持たない生ぬるい集まりである」と暗に感想を述べておられるのではないのでしょうか？ゲストは当クラブのメネット3名でした。

第三部「懇親会」は小倉メンに食前の祈りを捧げていただき、美味しい食事と、お琴、尺八の新春を祝うめでたい曲の演奏を聴きながらの甲府クラブのメンバーと楽しい懇親のひと時を過ごし、佐藤会長の閉会点鐘にて閉会しました。

開催に当たりおもてなしを頂きました甲府クラブの皆様にご感謝いたします。



日時：2018年1月9日(火) 18:00～
会場：ホテル談露館
出席者：[メン] 相川 饗場 稲垣 荻野 小澤(公)
小澤(智) 鎌田 駒田 功刀 輿水 後藤 佐藤 清藤
茅野 寺田 奈良田
野々垣 廣瀬 古屋 松村(豪) 葉袋 山県 米長
[メネット]
荻野 野々垣 廣瀬

TOF強調月間に寄せて

甲府21ワイズメンズクラブ 相川貴宏

TOF=Time of Fast

「断食の時」ともいい、世界の飢餓に苦しむ人々を支援するため、ある月のクラブ例会の食事を抜きにして、その分の金額を献金し国際が集めてその年度の定めた支援目標に捧げる奉仕活動。途上国で民生向上のため苦闘しているYMCAが世界YMCA同盟を通じて給付を申請する。(ROSTER ワイズ用語より抜粋)

2月のTOF強調月間として当クラブでも年間予算に1人1,300円で会員数24名の計31,200円が計上され東日本区へ献金しています。

今年の佐藤クラブ会長方針のクラブ独自の活動事業の1つとして弱いひと(障がい者・年少者・高齢者・貧困者など)への支援が掲げられています。

国連WFP協会(国連世界食糧計画を支援する認定NPO法人)による飢餓(数字で見る飢餓)の調べによると、以下のような報告があがっています。

1. 世界ではおよそ7億9500万人(9人に1人)が健康で活動的な生活を送るために必要かつ十分な食料を得られていない。
2. 飢餓に苦しむ人々のほとんどは開発途上国に住み途上国では人口の12.9%が栄養不良である
3. 地域別の飢餓人口の人数は、アジアが最大(全世界の3分の2)
4. 地域別で最も飢餓人口の割合が高いのは、サハラ砂漠以南の南アフリカ、4人に1人が栄養不良
5. 5歳になる前に命を落とす子供の半数近く(45%)は栄養不良が原因、その数は毎年310万人にのぼる。

この他に山梨県教育委員会の調査によると、児童・生徒の10人に1人が貧困、「塾に行けない」35%だそうです。

(2017.12.7 産経ニュースより)

平成24年の「子供の相対的貧困率」(17歳以下)16.3%で過去最悪の数値だったそうです。

(山梨総合研究所調べ 2016年4月)

上記の通りちょっと調べれば実態が把握できます。

この現実には我々クラブは何ができて、何をしなければならぬのでしょうか？会長方針の具体化のための議論を始めることも必要ではないかと考えます。



会員ペンリレー 1年でのJ1 復帰を目指して

甲府21ワイズメンズクラブ 輿水順雄

今年は、サッカーの祭典「ロシアワールドカップ」が開催されます。素晴らしいプレーを見る中でサッカーへの関心が高まり、それがJリーグの活性化につながることを願っています。

ヴァンフォーレ甲府は、昨年勝点1差でJ2降格となりました。大変悔しいシーズンでした。この悔しさを胸に1年でのJ1復帰を目指して、開幕に向けてトレーニングに励んでいるところです。J2となり選手強化費も大幅に減りましたが、十分に戦える選手編成ができたと思っています。最大の補強は、リンス選手が残留してくれたことです。その外にも、J1チームからのオファーがありながら残ってくれた河田選手、新たな挑戦の気持ちを持ってヴァンフォーレ甲府に来てくれた選手たち、その志に感謝すると共に大いに期待をしています。

J1最小規模のヴァンフォーレ甲府が、J1で戦い続けることに意義があると信じて5年間戦い続けてきました。しかし、「思うように伸びない観客数。毎年毎年の残留争いで、疲弊する選手たち。守備中心の得点の少ないサッカーで、面白くない」などの状況がありました。そこで、昨年吉田達磨監督を招聘し、攻撃的なパスサッカーを目指してスタートしました。今年2年目となりますが、スタイルを変更するにはJ2は絶好の舞台と思っています。J1に復帰するためには、攻撃的なサッカーで勝点を積み上げる必要があるからです。リンス選手・ジネイ選手の得点力と、良いキッカーも加入しセットプレーからの得点に期待ができると考えています。

現在、県が検討を進めている総合球技場の早期実現のためにも、J2の厳しい戦いを勝ち抜きJ1復帰を果たしたいと考えています。リーグ戦4・2試合、ルヴァンカップ予選リーグ6試合、それに天皇杯と約50試合のハードなシーズンとなります。

試合数も多くなり、観戦の機会も増えると思います。ぜひ、小瀬の山梨中銀スタジアムに足を運んでいただき、熱い応援をお願いいたします。サポーター、スポンサー、ボランティアを始めとするヴァンフォーレ甲府を支えていただいている皆様のご期待に沿えるよう、クラブ一丸となって戦います。今年もヴァンフォーレ甲府をよろしく願いたします。



明治安田J1最終節 対仙台戦
2017年12月2日＝甲府市・山梨中銀スタジアム

ベビーカーコンサート準備状況

甲府21ワイズメンズクラブ 小澤智之

1月18日の午後5時から甲府市のセリオ甲府5F「サロン・ド・エクラン」にて4月開催予定のベビーカーコンサートについて打合せが行われました。詳細は担当者がこれから固めていきますが、概要は下記の通りに進めていきます。情報共有をお願いいたします。

【企画概要】

開催日：2018年4月7日（土）

主催：甲府21ワイズメンズクラブ 共催：山梨YMCA（調整中） 後援：甲府市（調整中）

会場：山梨県立図書館 2F多目的ホール

会場住所：〒400-0024 山梨県甲府市北口2-8-1 TEL:055-255-1040（代表）

開場時間：午前10時30分 開演時間：午前11時00分（イベント時間：60分 演奏時間：約50分）

参加費：500円 未就学児・障がい者は無料（障がい者は家族・ガイドとも無料）

※当日お支払いいただきます。

定員：200名（未就学児も定員にカウントされます）

※山梨県立図書館によりますと、消防の指導で定員数より多く人は入れないとのことです。理由は酸欠状態を防ぐためだそうです。

※3歳以下は保護者のお膝で観賞をお願いします。

【出演者】

前原 加奈（ソプラノ） 立川あかね（ピアノ）

宮下美穂（パーカッション） 牛山 舞（ヴァイオリン）

【応募方法】

QRコードまたはURLからお申し込み用フォームに必要事項（名前・メールアドレス・性別・生年月日・住所・電話番号）を記入し、送信する応募方法とします。

※応募用フォームのシステム（フォームメーカーというものです）を利用するための登録用メールアドレスは作ります。

【受付方法】

1F受付（交流ルーム101）で受付（応募者の名前をプリントアウトして、受付時に受付担当者が応募者の名前を確認します）をしてもらい、ベビーカーは受付で預かります。ベビーカーの預かり所とお客様の休憩所を兼ねます。そのまま会場に行っても構いません。受付係と誘導係が案内をするなど対応します。

【曲目】

<器楽曲>

- ・熊ん蜂の飛行 ・剣の舞～道化師のギャロップ
- ・ディズニーメドレー ・クラシック同時演奏メドレー

<歌>

- ・花は咲く ・早春賦 ・Time to say goodbye
- ・ありがとうの花 又は 君を乗せて
- ・おかあさんといっしょ 今月の歌（1月、2月頃に決定）
- ・フニクリフニクラ ・子供向けパフォーマンスタイム

※「曲目は変更になる場合がございます」と案内には明記します。

【宣伝開始日】

2018年3月1日（木）とします。

2018年1月第2例会議事録要旨

※配布資料から作成

【2月第1例会について】

2月6日はTOFですが、卓話がワインをテーマにしているので、少し試飲しながらとなりました。

【3月第1例会について】

3月6日は鎌田メン紹介の高校生の話を聞くことで了承されました。

【第2回あずさ部かいじ評議会について】

日時：2018年2月10日（土）13:00～16:00

場所：山梨県立図書館 2F多目的ホール

登録費：2,000円

懇親会：（希望者のみ）16:00～18:30

①サドヤ（甲府市）にてワイナリー見学と試飲会

②甲府駅ビルにて懇親会

懇親会費用：3,000円

※同伴するメネットは1,000円とする

評議会に参加する甲府21クラブのメン及びメネットは12時に山梨県立図書館に集合、準備を行う。

【ベビーカーコンサートについて】

※ブリテン今月号参照

【4部合同EMCシンポジウムについて】

今年度は、首都圏を含む4部（東新部、関東東部、あずさ部、湘南・沖縄部）が合同して開催の運びとなりました。

日時：2018年2月17日（土）13:30～16:30

場所：東京YMCA山手センター2F STEPの部屋

内容：①ワイズメンズクラブ会員増強の展望

②YMCAポジティブネット「みつかる。つながる。よくなっていく。」

③パネリストによる発題と参加者ディスカッション

■今後の予定

2月10日（土）第2回あずさ部かいじ評議会（山梨県立図書館）

2月20日（火）第2例会（山梨YMCA）

3月 3日（土）・4日（日） 東日本区次期役員研修会

（静岡県 YMCA東山荘）

3月 6日（火）第1例会（山梨YMCA）

3月20日（火）第2例会（山梨YMCA）

4月 3日（火）第1例会（山梨YMCA）

4月 7日（土）ベビーカーコンサート（山梨県立図書館）

4月14日（土）・15日（日） 草津クラブ合同例会（滋賀県）

YMCA便り 地域に根ざし、世界を見つめる

山梨YMCA総主事 露木淳司

山梨YMCAにて1月20日、教会一致懇談会による連夜祈禱会第5夜の会場として、県下に広がる様々なキリスト教会の信徒たちが宗派を超えて1つとなり、ただ1人の救い主イエスキリストを崇め、一致して共に祈りを捧げる機会が持てました。

YMCAも同様に宗派にこだわることなく、ただひたすらに主の生き方に倣って、世のため人のために奉仕の道を歩み進んでいく団体です。

山梨では新しいYMCA会館を建設する話し合いが進められています。この話し合いの中心にはいつもイエス様がいて、御旨に適った建物や活動の計画が与えられるように導いてくれます。年老いた者も幼き者も、障がいのある者もなき者も、日本人も外国人も、男性も女性も、富める者も貧しき者も、全ての者が平等に自由に声を掛け合い、笑顔でいられる、共に生きる希望を与えられる場所となることを夢見ています。正にイエス様が示してくれた人間のあるべき姿が実現できる場所として活かされるよう心から祈ります。

ひとたび世界に目を向けますと、対話より圧力を求める動きが加速しています。それに呼応するかのように日本でも武器を持つことに肯定的な声が強まりつつあることが懸念されます。

この会館ができるときはちょうど平和の象徴「オリンピック」が東京で開催される頃です。今こそ世界の人々が人種や宗教の壁を越えて一つにならなければなりません。そして、私たちは唯一の被爆国民という立場から、平和の尊さを主張していかなければなりません。

地域に根ざし、世界を見つめるYMCAの新会館開設まであと2年に迫りました。キーワードはFor Allと地球市民教育。改めてYMCAの持つ可能性を最大限に引き出し、地域共生社会を実現し、平和な未来を担う人材を育成していきたいと願います。



連夜祈禱会の様子

2018年1月20日＝甲府市・山梨YMCA青少年センター